

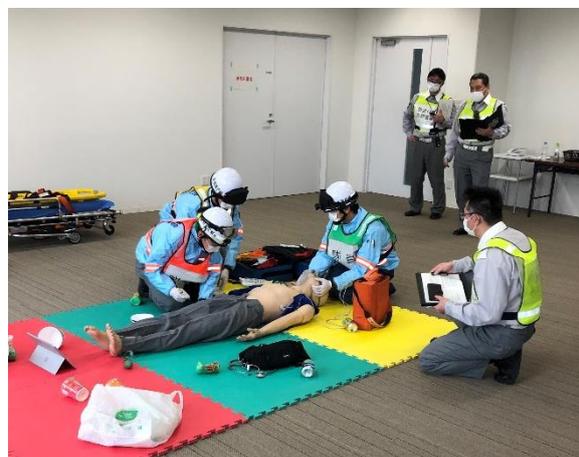
『指導救命士としての取り組みと組織への貢献』

	都道府県名	奈良県
	所 属	奈良県広域消防組合 天理消防署
	氏 名	石原 幹也
	職名・階級	救急係主任・消防司令補
	指導救命士養成研修 受講時期	令和元年度 指導救命士養成研修 第1期 修了

当消防組合は平成 26 年に県内 11 消防本部と 1 非常備村が広域合併により発足しました。消防本部（施設設置型救急ワークステーションを含む）及び各消防署に指導救命士をそれぞれ 1 名以上配置しています。大規模な消防本部となったため、救急活動の平準化と救急業務に携わる職員のレベルアップを目的に指導救命士が企画している取り組みを紹介します。

【特別救急訓練】

特別救急訓練は組合内の 18 消防署から出場隊を募り、シミュレーション訓練や技能訓練などのブースを設けて年に 1 度開催しています。当組合の救急隊に、いま最も必要とされる内容を訓練の主眼に置いて、指導救命士全員が協力して企画を行っています。これまでに e-MATCH（奈良県救急医療管制システム）による搬送先医療機関検索の平準化や緊急度判定を主眼とした訓練などに取り組みました。



【指導救命士リレー研修】

これまで、各種学会や研修会などには研修計画に基づいて、参加する職員は消防本部から指名されていましたが、業務の特殊性から全ての職員を指名することはできない現状でした。しかしながら、研修の場があれば、非番、週休であっても参加したいという職員の声があったことから、その声を反映させるために自己啓発を望む職員を主体とした研修の場を企画し、指導救命士リレー研修と名付けて開催することとなりました。この研修は指導救命士が自身の得意とする救急分野において、毎月1回1名の指導救命士が研修を担当します。これまでに精神科救急分野や感染予防分野など専門性の高い研修を開催しており、定員を超える申込者の中、選出されて受講できた職員からは知見が深まったなどのポジティブな感想を頂いています。



【院内指導】

当組合は救急救命士再教育研修として、県内5つの医療機関で病院実習を行っています。カリキュラムは指導救命士が医師や看護師と調整を行った上で作成し、PDCA サイクルを回すことで救命士のニーズに合った実習内容を企画できています。私が担当している病院実習では、院内指導として指導救命士を計画的に派遣し、スタッフと救命士との橋渡し役を担いながら、院内においても指導救命士が救命士を教育する体制を確立しています。実習先医療機関が多岐に渡ることから、カリキュラムの統一には難しい面もありますが、病院実習における先進的な取り組みなどを共有していくことが今後の課題であると感じています。

【今後の取り組み】

令和3年度から当組合35名の指導救命士を主体とした指導救命士会を組織しました。指導救命士会は消防司令長以上の指導救命士を管理救命士として配置し、教育研修部会・救急活動部会・統計分析部会の専門部会から成ります。専門部会は管理救命士を除く指導救命士で構成され、当組合の救急業務を更に発展させる役割を担います。この指導救命士会の活動を全国に示すことができるように、指導救命士として組織に貢献していく所存です。